

# この羽根で しあわせつながる 助けあい

赤い羽根共同募金運動はじまる 10月1日～12月31日



赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。

**助けあいのば**

**令和6年度の募金実績額は、  
938万368円**

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめとする「地域福祉活動」、「社会活動の支援」、「児童・青少年の福祉」、「子育て支援活動」など、市内や県内広域で活用したもの。

**令和6年度 共同募金の主な使いみち (表1)**

昨年度集まった、みなさんの募金は下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさんのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

宗像市内で活用したもの	金額
高齢者の福祉に	
●在宅介護者家族の会の支援	840,000円
●配食サービスボランティアの支援	
障がい児・者の福祉に	
●身体障害者福祉協会の支援	1,557,000円
●手話講習会への助成金	
●声の広報配布事業の支援	
●おもちゃ図書館運営の支援	
ボランティア活動に	
●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援	534,000円
●大島地区ボランティア団体への助成金	
福祉活動の支援に	
●地域住民の自主的な地域福祉活動	2,395,000円
●民生委員児童委員協議会への助成金	
児童・青少年の福祉に	
●市内幼稚園、保育園、小中学校、高校への福祉教育推進事業	262,000円
●小学校での車いす体験や手話体験などの福祉教育事業	
子育て支援活動に	
●地域福祉文庫連絡協議会の支援	219,000円
●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金	
●母子寡婦福祉会の支援	
県内広域で活用したもの	金額
その他、県内の福祉施設への支援、災害ボランティア活動、福祉に関する情報提供や啓発活動など	3,573,368円

**令和6年度 共同募金実績内訳表 (表2)**

各世帯からの募金  
8,294,712円

募金箱 199,054円  
バッジなど購入による募金 567,609円

個人募金（振込）など 93,206円  
街頭募金 158,594円  
自動販売機を活用した募金 67,193円



**社協だより**

**220号**  
令和7年10月号

発行  
社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会  
〒811-3437 宗像市久原180  
メイトム宗像2階  
TEL 0940-37-1300

**令和7年度の募金目標額**

**700円の日安額**

多くの人に  
まえらでいる  
共同募金

くつしていく原動力となりま  
す。みんなのご理解とご協  
力をお願いします。

**災害等準備金の積み立て**

くつしていく原動力となりま  
す。みんなのご理解とご協  
力をお願いします。

## 赤い羽根共同募金配分団体紹介

# たのしみながら 健康づくり

東郷地区福祉社会会長 志岐茂則

東郷地区では、14の自治会ごとに地域福祉活動が行われています。今回は主な取り組みである「サロン活動」と「福祉委員研修」について紹介します。

## ◆サロン活動

各自治会では、高齢者の皆さんを中心に、公民館などに集まってお茶を飲みながら話をしたり、ゲームを楽しんだりと、気軽に交流できる「サロン活動」を実施しています。

活動が盛んな自治会では、真夏と年末年始の時期を除いて、月に1回のペースで開催されています。活動回数が少ない自治会でも、

年に4回程度開催されており、それぞれの地域の事情に合わせた運営がされています。また、特色ある取り組みを行っている自治会もあり、他地域の活動を自分たちのプログラムに取り入れるなど、工夫を凝らし実施しています。しかし、各地域で共通の課題として「参加者が固定化しやすい」という声も聞かれます。現在、新しい参加者を迎えるためのアイデアや工夫を検討しているところです。

## ◆福祉委員研修

東郷地区の福祉活動を支える福祉委員(現在23人)を対象に、地区外での視察研修も行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年度から令和4年度まで中止となっていましたが、令和5年から再開されました。

令和5年度は、福岡市の「介護実習普及センター」を訪問し、高齢者の身体的な不自由さを体験することで、日常生活における困難さへの理解を深めました。令和6年度(昨年度)

福祉委員研修：  
高齢者疑似体験の様子

は、春日市の「生涯あんしん住宅」

を見学し、高齢期の住まいや備えの重要性を学びました。研修を通じて、福祉委員一人ひとりが、地域の高齢者支援について、より具体的な視点を持つことができています。

東郷地区の地域福祉活動を支える大切な財源の一つが、「赤い羽根共同募金」の配分金です。皆さんからのご支援により、地域の高齢者の方々が安心して暮らせるような活動が継続できています。今後も、多くの方に喜んでいただけるよう、有意義に活用させていただきます。

■問い合わせ先	FAX (34)24222	申込期間 10月31日(金)まで	●参加費 500円	●定員 10人	●対象 先着10人	●定員に達し次第受付終了	●場所 メイトム宗像 101会議室	午前10時受付～正午解散予定	●日時 12月14日(日)
※詳細は問い合わせを									

は、新しい年を迎える準備としてお正月に飾るしめ縄を作る予定です。

障がいのある人で、レクリエーション活動を通じて仲間づくりをしたい人の参加を待っています。もちろん初めての参加も大歓迎です！



## ゆつたり茶話会

## 参加者募集のお知らせ

同センターでは、障がいのある人や、アサポーター（障がいのある当事者の相談員）が一緒に活動をするピアサポート事業を開催しています。

土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時  
メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

（宗像市役所・北館1F）

## ご寄付 ありがとうございます

## 【香典返し】(敬称略)

- ・(故)柚木壽生(河東)
  - ・(故)中尾テル子(日の里)
  - ・(故)花田正幸(田野)
  - ・(故)吉田みゆき(村山田)
  - ・(故)池本陸夫(日の里)
- (令和7年8月31日受付分まで)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留等でも受け付けができますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願ひします。

社協だよりは、偶数月発行です(年間6回)

## 社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地メイトム宗像内

☎(37)1300 FAX(37)1393

大島支所 宗像市大島1809番地32

ふれ愛センター内 ☎(72)2294

ホームページ <http://syakyo.munakata.com/>

メール info@syakyo.munakata.com

本会は、むなかたタウンプレスを音にして届ける  
「声の広報」活動を実施しています

## 地域福祉文庫

## 参加者募集

## お話し会のご案内



市地域福祉文庫連絡協議会と市社会福祉協議会では、「赤ちゃんと絵本」～乳幼児期からの絵本との出会い～をテーマにお話し会を開催します。

昨年に引き続き、今回もお子さんといっしょに参加できるお話し会です。お子さんといっしょに豊かな時間を過ごしませんか。

- 日時 11月11日(火) 10:00～11:00(受付9:30～)
- 会場 メイトム宗像1階 和室
- 講師 すえまちおひさまおはなしの会  
代表 永吉由美子さん
- 対象 お子さんとその保護者
- 定員 15組 ●参加費 無料
- 申込方法 10月31日(金)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ申し込む



## 参加者募集

## 認知症サポーター

## 養成講座 開催のお知らせ

誰もが認知症になんでも安心して生活できる地域となることを目指して、「認知症サポーター養成講座」を開催します。みなさんもサポーターになって、住みよいまちを一緒につくっていきませんか？

- 日時 11月27日(木) 14:00～15:30
- 会場 メイトム宗像 202会議室
- 参加対象 市内に在住、勤務、通学する人
- 参加費 無料 ●定員 30人(先着)
- 申込方法 電話またはFAXで市社協まで
- 締め切り 11月14日(金)
- その他 受講された方には「認知症サポーターカード」を交付します。



## 認知症サポーター養成講座とは

認知症に対する理解を深める講座です。  
(全国キャラバン・メイト連絡協議会に登録された講師が担当します)